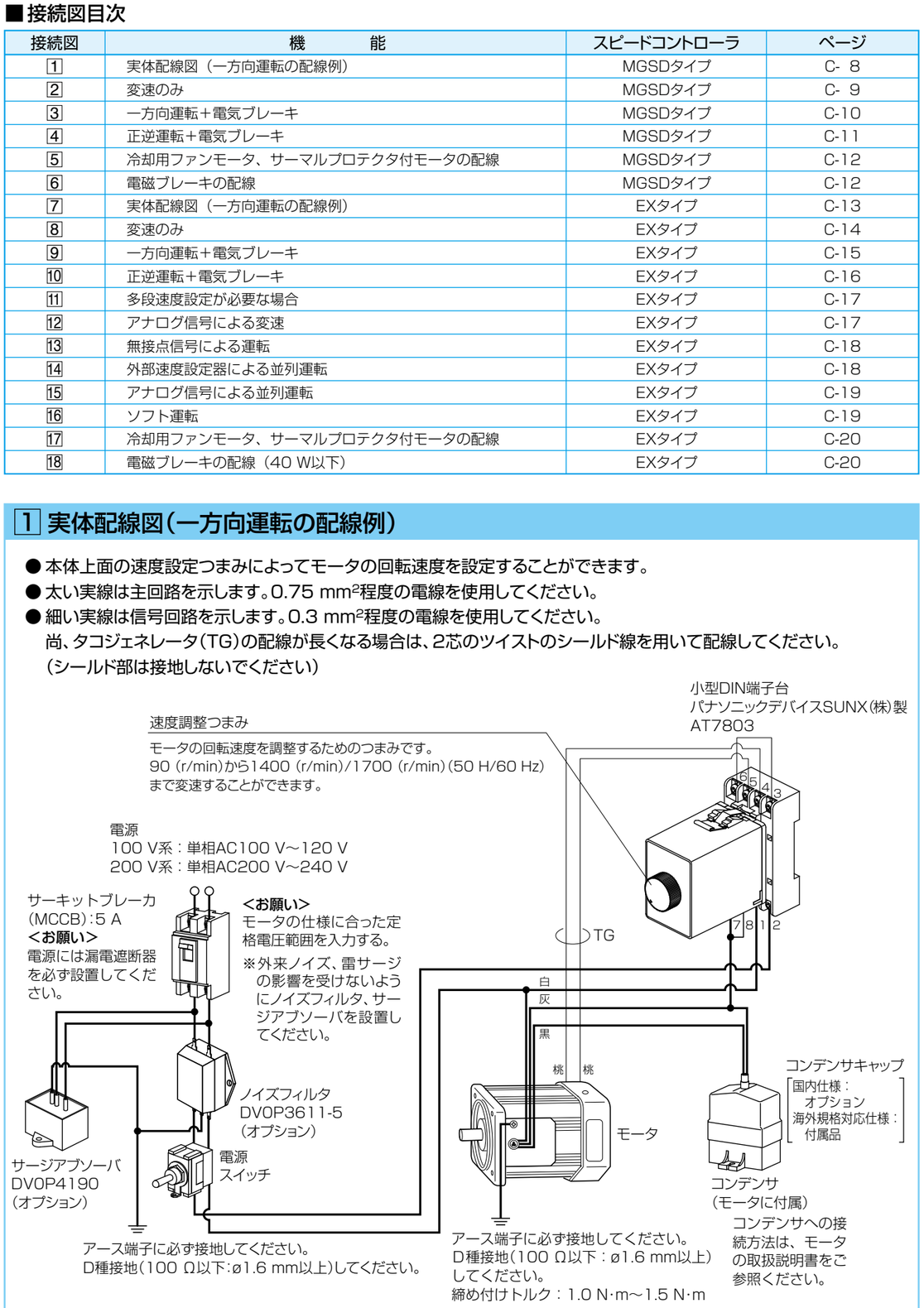
■接続図目次

接続図	機　　能	スピードコントローラ	ページ
1	実体配線図（一方向運転の配線例）	MGSDタイプ	C- 8
2	変速のみ	MGSDタイプ	C- 9
3	一方向運転＋電気ブレーキ	MGSDタイプ	C-10
4	正逆運転＋電気ブレーキ	MGSDタイプ	C-11
5	冷却用ファンモータ、サーマルプロテクタ付モータの配線	MGSDタイプ	C-12
6	電磁ブレーキの配線	MGSDタイプ	C-12
7	実体配線図（一方向運転の配線例）	EXタイプ	C-13
8	変速のみ	EXタイプ	C-14
9	一方向運転＋電気ブレーキ	EXタイプ	C-15
10	正逆運転＋電気ブレーキ	EXタイプ	C-16
11	多段速度設定が必要な場合	EXタイプ	C-17
12	アナログ信号による変速	EXタイプ	C-17
13	無接点信号による運転	EXタイプ	C-18
14	外部速度設定器による並列運転	EXタイプ	C-18
15	アナログ信号による並列運転	EXタイプ	C-19
16	ソフト運転	EXタイプ	C-19
17	冷却用ファンモータ、サーマルプロテクタ付モータの配線	EXタイプ	C-20
18	電磁ブレーキの配線（40 W以下）	EXタイプ	C-20

1 実体配線図（一方向運転の配線例）

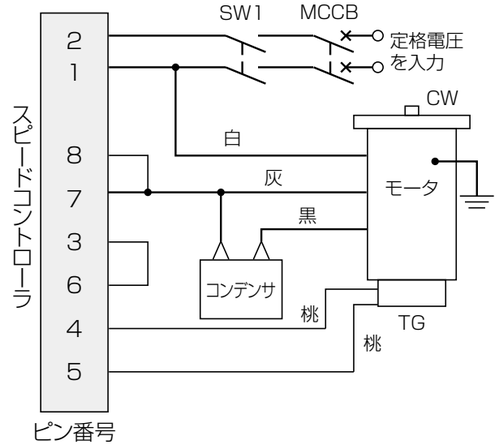
● 本体上面の速度設定つまみによってモータの回転速度を設定することができます。
● 太い実線は主回路を示します。0.75 mm²程度の電線を使用してください。
● 細い実線は信号回路を示します。0.3 mm²程度の電線を使用してください。
尚、タコジェネレータ（TG）の配線が長くなる場合は、2芯のツイストのシールド線を用いて配線してください。
（シールド部は接地しないでください）



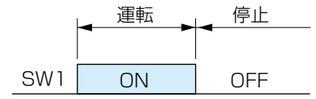
※ご使用に際し必ず「取扱説明書」をお読み頂き注意事項を十分ご確認の上、正しくお使いください。

2 変速のみ

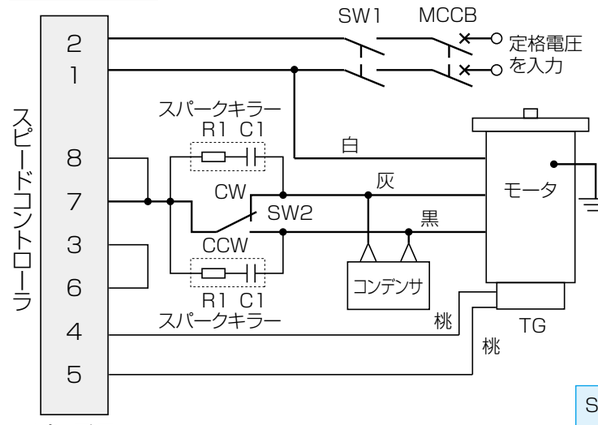
一方向運転

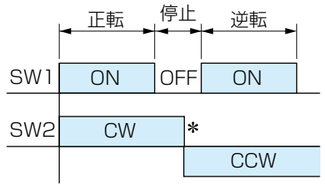


軸側より見た回転方向	
CW	時計方向
CCW	反時計方向



正逆運転





SW1：電源スイッチ
SW2：正逆切替スイッチ

SW1	100 V電源の場合	AC125 V　5 A以上
SW2	200 V電源の場合	AC250 V　5 A以上
スパークキラー　R1+C1		DVOP008（オプション）

[注]

1. インダクションモータで正逆運転をする場合には、必ず停止期間を設け、モータが停止してからSW2を切り替えてください。
2. レバーシブルモータで正逆運転をする場合は、停止期間を設ける必要はありません。SW1がONのまま、SW2にて回転方向を切り替えてください。SW2をリレー接点にて構成する場合には、コンデンサ短絡による故障を防ぐため、接点間の距離の広いもの（例：パナソニック株式会社　オートモーティブ&インダストリアルシステムズ社製HGリレー、HPリレー）を使用してください。
3. 冷却用ファンモータ・サーマルプロテクタ付モータの場合は、C-12ページも合わせてご覧ください。
4. 正逆運転の場合、SW2を独立した別のリレー接点で構成する場合には、インターロックをとり、同時に接点が閉じることがないようにしてください。
5. リレー接点保護のため、R1+C1を必ず接続ください。

※ご使用に際し必ず「取扱説明書」をお読み頂き注意事項を十分ご確認の上、正しくお使いください。